

平成29年度第13回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成30年2月19日（月）10時00分～11時15分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	津曲 隆
事務局長	田中 純二
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	黄 在南
地域連携・研究推進センター長	堤 裕昭
学術情報メディアセンター長	村尾 治彦
アドミニストレーション研究科長	宮園 博光
文学研究課長	鈴木 元（オブザーバー）
環境共生学研究科長	北原 昭男（オブザーバー）
TKUみんなのニュース解説委員	平野 有益
崇城大学教授・九州大学名誉教授	山田 耕路
欠席：熊本県公立高等学校長会長	和久田 恭生

事務局：本田事務局次長、多田隈教務入試課長、坂本学生支援課長、前田総務課長、安達学術情報メディアセンター事務長、教務入試課築地班長、同課平山班長、松本企画調整室主任主事、欠席：花村企画調整室長、脇上地域連携・研究推進センター事務長

1 開会（進行：本田次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：半藤学長）

(1) 審議事項

① 平成30年度入学者選抜における合格者の決定について

1) 大学院文学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「文学研究科は、2月3日に試験を実施し、2月6日の研究科委員会で審議を行った。志願状況は、日本語日本文学専攻博士前期課程は、春季募集3名に対して、2名が志願、受験した。日本語日本文学専攻博士後期課程は、春季募集1名に対して、1名が志願、受験した。英語英米文学専攻博士後期課程は、春季募集1名に対して、1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、文学研究科長から、資料1-2に基づき、「日本語日本文学専攻博士前期課程について、一般選抜、専門職業人特別選抜、各1名の2名が志願、受験したが、両名とも基準点を上回っているため合格としたい。日本語日本文学専攻博士後期課程について、一般選抜に1名が志願、受験したが、基準点を上回っているため合格としたい。英語英米文学専攻博士後期課程について、1名が志願、受験したが、基準点を上回っているため合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 大学院環境共生学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-3に基づき、「環境共生学研究科は、2月3日に試験を実施し、2月13日の研究科委員会で審議を行った。志願状況は、博士前期課程は、春季募集若干名に対して、1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、環境共生学研究科長から、資料1-4に基づき、「博士前期課程について、社会人特別選抜に1名が志願、受験したが、基準点を上回っているので合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 大学院アドミニストレーション研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-5に基づき、「アドミニストレーション研究科は、2月3日に試験を実施し、2月8日の研究科委員会で審議を行った。志願状況は、博士前期課程は、秋季・春季合わせて募集20名に対して、今回1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、アドミニストレーション研究科長から、資料1-6に基づき、「博士前期課程について、社会人特別選抜に1名が志願、受験したが、基準点を上回っているので合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4) 私費外国人留学生特別選抜

事務局教務入試課から、資料1-7に基づき、「私費外国人留学生については、各学科募集若干名に対して、総合管理学部に1名の志願があり2月3日に試験を実施したが、受験がなかったため、失格となることを報告する。」との説明があった。

② 第3期中期計画（H30-H35）（案）について

事務局企画調整室から、資料2に基づき、「第2期中期計画が今年度で終了するため、県が定める中期目標を達成するための次期（第3期）中期計画を策定する必要がある。第3期中期目標については、平成29年12月14日に熊本県議会において議決され、同月27日付で本法人へ指示された。今般、第3期中期計画（案）を作成したので、審議をお願いしたい。」との説明があり、12月の第11回教育研究会議で審議・承認された素案からの変更点等について説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 環境共生学部の学科改組に係る関係規程の改正について

事務局教務入試課から、資料3に基づき、「環境共生学部の現在の3学科を1学科3専攻に改組し、平成31年度入学生から適用することについて、昨年12月までに関係会議において審議・承認を得たので、学則、熊本県立大学における教育研究上の目的に関する規程及び3つのポリシーを改正し、平成31年4月1日から施行したい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 環境共生学研究科のアドミッションポリシー（入学者受入方針）の一部見直しについて

事務局教務入試課から、資料4に基づき、「大学院環境共生学研究科入学試験に

において外部検定試験を活用するため、アドミッションポリシーの一部を見直したい。平成31年度入試から、博士前期課程一般選抜の学力検査において、TOEIC等のスコアを活用することを考えている。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 環境共生学研究科における分野の再編について

環境共生学研究科長から、資料5に基づき、「多岐にわたる教育・研究の内容を分類し、教育・研究の方向性をわかりやすく示すために設置している分野について、環境共生学研究科における指導体制の強化を目的として、現在の2領域6分野を2領域4分野へ再編成したい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑥ 学部長、研究科長、地域連携・研究推進センター長、学術情報メディアセンター長及び学科長・部門長の選考並びに各センター長の指名について

事務局総務課から、資料6に基づき、「平成30年3月をもって、現在の学部長、研究科長、地域連携・研究推進センター長、学術情報メディアセンター長及び学科長・コース長並びに各センター長の任期が満了となることに伴い、文学部長に鈴木元 現、文学研究科長を、環境共生学部長に松添直隆 現、環境共生学部長の再任を、総合管理学部長に進藤三雄 現、総合管理学部パブリック・アドミニストレーションコース長を、文学研究科長に、虹林慶 現、文学部教授を、環境共生学研究科長に北原昭男 現、環境共生学研究科長の再任を、アドミニストレーション研究科長に森美智代 現、総合管理学部ビジネス・アドミニストレーションコース長を、地域連携・研究推進センター長に丸山泰 現、総合管理学部教授を、学術情報メディアセンター長に村尾治彦 現、学術情報メディアセンター長の再任を、日本語日本文学科長に米谷隆史 現、日本語日本文学科長の再任を、英語英米文学科長に吉井誠 現、文学部教授を、環境資源学科長に石橋康弘 現、環境資源学科長の再任を、居住環境学科長に辻原万規彦 現、居住環境学科長の再任を、食健康科学科長に松崎弘美 現、環境共生学部教授を、総合管理学部公共・福祉部門長に吉村信明 現、総合管理学部教授を、ビジネス部門長に黄在南 現、総合管理学部長を、情報部門長に宮園博光 現、アドミニストレーション研究科長を、基礎総合管理部門長に江崎一朗 現、総合管理学部教授を選考した。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

また、同時期に任期満了となるキャリアセンター長に宮園博光 現、アドミニストレーション研究科長を、保健センター長に下田誠也 現、環境共生学部教授を、地域活力創生センター長に松添直隆 現、地域活力創生センター長（再任）を指名したとの報告があった。

⑦ 総合管理学部総合管理学科の採用人事(再々公募)に係る内容の一部変更について

総合管理学部長から、資料7に基づき、「看護学に関する採用人事について、昨年度、枠取りを承認いただき、今年度公募を行ったものであるが、6月応募期限の募集時及び10月応募期限の再募集時ともに志願者がなかったため、職名、応募資格、採用予定日について一部内容を変更したい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑧ 平成30年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料8に基づき、「平成30年度非常勤講師の採用について、各学部長、研究科長から推薦があった81名、185科目について審議いただきたい。予定者は名簿のとおりである。これまでに審議をお願いした講師と合わせ、136名、271科目になる。審議未了の者については、3月の教育研究会議で審議のうえ、平成30年4月1日採用予定として手続きを進める。」との説明があった。審議の結果、案のとおり承認した。

## (2) 報告事項

### ① 平成30年度入学者選抜（一般入試）の志願状況について

事務局教務入試課から、資料9に基づき、「平成30年度一般入試について、1月22日から1月31日まで出願の受付を行い、志願者が確定した。志願状況は、合計で2,322名の志願があり、昨年度より324名増加。前期日程はほぼ昨年並みであるが、後期日程の志願者が増加しているのが特徴である。各学科の状況としては、文学部英語英米文学科の後期日程、環境共生学部環境資源学科の後期日程、総合管理学部総合管理学科後期B方式の志願者が大きく増加している。」との報告があった。

## 4 その他

次回日程 平成29年度第14回3月5日（月）午前11時～本部棟2階大会議室

## 5 閉会